

(様式 4)

## ◆ 海老原 周子

### <所属・職名>

通訳、東京都教育委員会統括スーパーバイザー

### <略歴>

ペルー、イギリス、日本で育つ。慶應義塾大学卒業後、(独)国際交流基金・IOM 国際移住機関に勤める。2009年より外国ルーツの高校生や若者を対象にキャリア教育や多文化交流ワークショップなどを行い、これまで 500 人以上の子ども・若者と接してきた。2016年に一般社団法人 kuriya として法人化した後、現場での実践と同時に国への政策提言にも取り組み、それらの功績から 2022 年には公益財団法人社会貢献支援財団より社会貢献者表彰を受賞。文部科学省外国人児童生徒教育アドバイザー、東京都教育委員会スーパーバイザーも務める。

### <これまでの研究活動、外国人児童生徒等教育に関する経験など>

国際交流基金にて日本文化理解事業を担当した後、IOM 国際移住機関ではヘルシンキ事務所にて第三国定住事業の評価アセスメントに携わる。その後、駐日事務所にて、外国人の子どもの就学支援事業(「虹の架け橋事業」)の事務局に関わった後、外国人の高校生・若者のキャリア支援事業に取り組むべく、一般社団法人 kuriya を設立。2016 年ー2018 年 アーツカウンシル東京、東京都共催事業 アートポイント計画として採択され、外国人の若者へのアウトリーチ活動や定時制高校での教育プログラムなどを実施する。トヨタ財団 国際助成事業採択 香港、マレーシアにおける外国人受け入れの状況や多文化共生の状況についてリサーチを行い、現地のステークホルダーとともに、国際プロジェクトとして日本、香港、マレーシアにて多文化理解ワークショップを実施。2019 年ー現在 東京都教育委員会統括スーパーバイザーとして、スクールソーシャルワーカーへの多文化研修を担当。生徒相談やケースワークへの助言を行う。

2015 年 社会起業家の登竜門である社会起業塾に選抜

2016 年 EU 主催「Global Cultural Leadership Programme」日本代表

2017 年 米国 Fish Family 財団主催 Japan Women's Leadership Initiative より日本の未来を担う女性リーダーとして選拔さ、フェローとしてボストンにてアメリカにおける外国人受け入れのリサーチを行う。

2018 年 アメリカ大使館から奨励金を授与され、米国 EastWestCentre 主催が主催するアジア・太平洋州の女性リーダーが集う Changing Faces Women's Leadership に日本代表として参加。

2019 年 ザルツブルクグローバルセミナーにより、社会変革を担うイノベーターとして世界から Young Cultural Innovator に選抜。

2021 年 パーソルホールディングス主催 Persol Work Style Award ノミネート

2022 年 社会貢献財団より社会貢献表彰を受賞。

2023 年 東京都多文化共生推進委員会委員

### <対応可能学校種>

高等学校

<遠隔での指導助言> ※いずれかの□にチェックを記入してください。

☒ 対応可 ☐ 対応不可

### <その他(国等の委員歴等)>

東京都教育委員会スーパーバイザー、第 12 期東京都生涯学習審議会委員、東京都多文化共生推進委員

### <関連URL>